

カボチャの生産拡大に向けて研修会を開催

当課では、J A 東びわこと連携して平成 24 年から彦根市稲枝地域を中心に全農契約カボチャを推進しています。2 月 10 日の研修会では生産拡大に向けて、既存の栽培者に今年度の課題と改善点を説明するとともに、新規栽培者の確保に向け関心のある農家を集めて栽培の概要を説明しました。次年度の栽培面積は初めて 1 ha を超える見込みです。

今年でカボチャの栽培推進を開始して 4 年目になるにあたり、栽培面積および出荷量は少しずつ増加（今年度 82 a、8.8 t）していましたが、収量が少しずつ低下しているという課題があります。その原因として、生育前半に施肥量が多く着果が不安定になっていることと、生育後半の追肥とうどんこ病防除が不十分であることにより枯れ上がりが起こり日焼け果が多発していることが挙げられます。そこで今回の研修会では、これら現状と対策を十分に説明することで収量向上を図りました。また、環境こだわり栽培への誘導も行い、一部で取り組まれる見込みとなっています。新たにカボチャ栽培に取り組む農家も出てきそうです。

現在は稲枝地域中心の取り組みとなっていますが、今後は管内の他地域にも広がるように栽培推進を行う予定です。



生育前半の強樹勢



樹勢低下とうどんこ病による枯れ上がり



収穫されたカボチャ